

神戸すまいのあんしん入居制度、ご存知ですか？

平成26年に、高齢者が賃貸住宅に入居する際の不安を少なくするために創設した居住支援サービス*です。昨年10月からは賃貸住宅にお住まいの方に加え、持ち家にお住まいの方にもご利用いただけるようになりました！



こんなときに使えます

- ・片付け方が分からないとき
- ・相続した実家の片付けをしたいとき
- ・増えすぎた荷物の処分をしたいとき
- ・住替え先に荷物を全部持っていけなくて処分しないといけないとき
- ・自分が亡くなったあと、家族に片付けで迷惑をかけたくないとき
- ・オーナーさんから見守りを入居条件にされたとき
- ・家族が遠くに住んでいて何かあったら駆けつけてほしいと思ったとき



利用者の声 「神戸すまいのあんしん入居制度」の契約をされた方に、インタビューをしてみました！

家財の片付けがずっと気になっていたもので、契約してすごく安心した。

灘区・Yさん・利用サービス：家財の片付け（あとからプラン）

人に迷惑を掛けたくなくて

震災後からずっと住み続けていて私が亡くなるまで住んでもいいと言ってくれるオーナーに、家財の片付けで迷惑はかけたくない。でも、片付けてくれる家族はいない。どうしようかとずっと思っていた。そんな時、広報こうべで、生前に片付けの契約ができることを知り、実際にすまいるネットに相談すると、制度の説明を聞くことができ、そのまま事

業者も教えてもらえた。自分では事業者を見つけることができなかったもので、相談してよかった。

事業者の印象

事業者の紹介を受け、電話で見積りを依頼。数日中に見積りに来てもらえたとし、説明も丁寧で良い印象だったが、すぐには費用を用意できなくて、貯金をすることにした。一年後、事業者に連絡したらすぐに再見

積りに来てくれて、契約することができた。とても嬉しかった。

かかった費用

私の場合は、荷物が少ないこともあり1Kで約4万5千円で契約できた。亡くなった後の家財の行方を考える機会はあまりないかもしれないけど、この契約をして、私はすごく安心できたのでみなさんにも、おすすめしたい。

*居住支援サービス：家財の片付け（いますぐプラン・あとからプラン）・安否確認・連帯保証・葬儀の実施

神戸市すまいとまちの安心支援センター（すまいるネット）は神戸市が設置した“すまい”に関するあらゆる悩みや疑問にお答えする相談所です。すまいの改修、高齢者の住み替え、バリアフリー、空き家活用など様々なご相談に応じていますので、お気軽にお立ち寄りください。

困ったことがあれば

一級建築士・消費生活相談員・融資相談員が対応いたします。（来所・電話相談どちらでもOK）

より専門的立場からアドバイス

空き家活用・法律・資金計画・不動産取引・マンション管理など



各線三宮駅より東へ徒歩約5分

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル4階
営業時間：10時～17時（水曜定休）

すまいの相談は
TEL（相談専用）078-222-0005
補助制度の間合せ等は
TEL（事務局）078-222-0186 FAX 078-222-0106



すまいるネット 神戸 検索



鳥のイラストで人気のイラストレーター・遠山敦氏のイラストを起用し、親しみのある手描き風タッチのロゴマークとキャラクターに新装しました。「はじめまして」の方も、「知ってるよ」の方も、みなさん、どうぞよろしくお願いいたします！

神戸市が発信する“よりよい住まいづくり”情報紙

すまいるネット通信

すまいるネット 神戸

検索

発行/神戸市すまいとまちの安心支援センター
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル4階
電話 (078)222-0186 FAX (078)222-0106

vol.46
2018.春

すまいるネットとは？

すまいるネットは、神戸市が設置するすまいの総合窓口です。すまいに関する相談、情報提供、普及啓発を行うとともに、耐震化促進、バリアフリー化促進、マンション支援や住宅確保要配慮者への支援など、様々なサービスを行っています。すまいのことならすまいるネットへご相談ください。

すまいるネットホームページが新しくなります！

インターネットでさまざまな情報を収集される方が増えてきていますが、「すまいるネットのホームページを見たけど、自分の探している情報になかなかたどり着かない・・・」といったお声をいただいております。そんなお声を受けまして、訪問した人にとって「わかりやすい！見やすい！迷子にならない！道しるべとなるようなホームページ」にリニューアルいたします。新しくなったホームページを、ぜひ一度ご覧ください！

すまいるネット 神戸

検索

その1 クリックで目的にたどり着けるアクセスのしやすさ

お探しの目的に応じた入り口（すまいのご相談メニュー）から、すばやく目的にたどりつけます



その2 親しみのあるロゴマークとキャラクターに新装

手描き風タッチで親しみのあるロゴマークとキャラクターに新装



その3 すまいの相談員の顔が見えるコンテンツ

すまいの用語の基礎を、実際に窓口で対応させていただくすまいの相談員が解説します



その4 サイトを見やすく、使いやすく

スマートフォンへの対応、基本の文字サイズを大きめに、さらに文字拡大機能を設定し、全ての方に見やすく、使いやすいサイトに



耐震改修を体感！

「耐震改修オープンハウス」を開催しました。

耐震改修工事ってどんなことするの？費用はどのくらいかかる？
工事する時どんなことに気をつけたい？補助金はいくら出るの？
など、耐震改修工事って実はわからないことが多いですね。



神戸市耐震キャラクター
オキールファミリー

そんなわけで … 神戸市では、耐震改修工事とはどのようなものなのか知っていただくため、「耐震改修オープンハウス」という工事現場の見学会を開催しております。

今年度は垂水区と長田区にて2回開催しました。

第1回 垂水区美山台 10月

2日間を予定していましたが、台風接近のため1日だけの開催となりました。降雨がひどい時間帯もありましたが約20名の方に参加していただきました。設計者の丁寧な説明で耐震改修工事を理解していただいた様子でした。



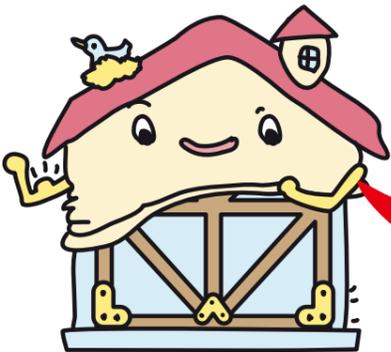
第1回オープンハウス会場内の様子

第2回 長田区久保町 11月

2日間を通して約30名の方に参加していただきました。参加者のみなさんから「実際に設計された方の話で参考になりました。」「工事のイメージがつかめました」「今度は住んでいる近くでオープンハウスをしてほしい」などの感想をいただきました。



第2回オープンハウス会場内の様子



次回は皆さんのお住まい近くで開催するかもしれません！
「耐震改修オープンハウス見学登録」を受付けしております。ご登録いただきましたら、オープンハウスの開催が確定した場合、「Eメール」又は「郵送」でご連絡いたします。ぜひ、ご登録を！

● 南海トラフ地震の発生確率



高い確率で起こると言われている南海トラフ地震が発生すると神戸市で最大震度6強の揺れとなるとされておるぞい。
すまいの耐震化をすすめるのじゃ！



神戸市耐震キャラクター
オキールはかせ

「すまいの耐震セミナー」を開催しました。

阪神・淡路大震災より23年を迎えた今年1月、防災や住宅の耐震化に関する連続講座「すまいの耐震セミナー」を神戸市役所4号館にて開催しました。4日間に渡って行われた本セミナーでは、防災や耐震化の分野に造詣の深い講師陣をお招きし、地震に備えた暮らし方や対策についてお話いただきました。



平成28年度より取り組んでいる「耐震で安心TAIAN PROJECT」は、住宅の耐震化や、安全なすまいや暮らし方に取り組むことを目的とする、クリエイター・企業・行政の協働プロジェクトです。

1日目 1月16日

パネルディスカッション「クリエイターから見た防災」 天満販売促進部



熊本・大分では、子どもと一緒に防災を学ぶ「こどもボウサイ」という取り組みがあります。そこからヒントを得て、昨年10月には垂水駅前「耐震で安心TAIANカフェ」という防災イベントを企画・開催しました。



パネルディスカッションの様子

2日目 1月17日

講演「命を守る 一室耐震シェルター」 一級建築士 前田 邦江



家全体を耐震補強するのが理想的ですが、経済的な理由等から断念される方もいます。そういった場合に、家の中の一室を補強する「耐震シェルター」という地震対策があります。通常の耐震工事と比べ、費用を抑え、工期を短縮することが期待できます。



講演の様子

3日目 1月22日

講演「もしもに備える住まいと暮らし」 積水ハウス(株)東田 豊彦



日常生活での備えが、非常時の備えになります。缶詰などの非常食を普段から食べて、味を確認しておくことも立派な防災活動です。また、地震時にベッドの上に倒れ込む家具はないか、出入口を塞ぐような家具はないか、家具の置き方にも普段から気をつけましょう。

4日目 1月23日

講演「あなたのすまいは地震が来ても大丈夫ですか？」 すまいるネット



昭和56年5月以前に着工された住宅は、古い耐震基準のもとに建てられており、耐震性が低い可能性があります。こういった住宅は、耐震診断や耐震改修工事の際に、補助金等の公的支援を受けられる可能性があります。



TAIAN PROJECTの半纏のご紹介

耐震のセミナーやイベント等でスタッフが着用します。まちで見かけたらお気軽にお声掛けください。

シンポジウム 報告

神戸+大阪+京都 三都連携事業

「空き家の価値を考える」シンポジウムを開催しました

～ちがった角度で光をあてる、三都の事例から～

2月17日(土)神戸勤労会館で開催したシンポジウムでは、神戸・大阪・京都それぞれの都市での空き家に関する取り組み紹介とともに、パネルディスカッションでは、地域のまちづくりや人のつながりについてもさまざまな意見が交わされました。ご参加の皆さんからアンケートに寄せられた感想を、いくつかご紹介させていただきます。(※原文に一部補足を加えています。)



○ 神戸、大阪、京都とも大学との連携の重要性が参考になった。

○ 大阪長屋に興味を持った。具体的な事例を見に行こうと思います。

○ 京都・六原地区の「空き家にしない」取り組みは、地域自治会を中心として地域(エリア)を管理(マネージメント)している点が参考になった

○ 須磨区禅昌寺町での取り組みは、事業として成立しており興味深かった。

○ 空き家は地域の問題であると再認識できました。

当日の内容については、後日、すまいるネットホームページでご報告させていただく予定です。お楽しみに！